

GRADUATE OF SHIMANE UNIVERSITY



学びが活きていると思います。思いや考えを伝える方法が身についていることは私の武器になっています」。

現在、森口さんは働く人の窓口となる人事部で、採用活動に関わる募集や広報、面接や試験の準備、内定通知から入社後のオリエンテーションなどを行っています。「会社は人が9割だからこそ、着飾らない自分で採用の窓口立つ」と言います。会社と働く人のイメージの乖離をできるだけなくし、応募人数を増やすのではなくマッチング率を上げ、定着率を増やすことに注力しています。昨年任されたプロジェクトとしてユニフォームの更新があります。従業員の意

見を吸い上げ、ストレッチ性のある動きやすい制服やクルービズのためのポロシャツを導入。また、毎日着るものなのでデザイン性にもこだわりモチベーションアップを図りました。「ここで働きたい、ここで働きたいです」と、福利厚生提案を行ったり、学生に年齢が近い先輩として相談にものっています。

**広がるコミュニティ
”楽しむこと”を大切に**

『日新』に内定後、『くらしの中の製作技術』という、合板で家具をつくる“大学の講座を受講しました。講師を務められた山下晃功名誉教授にはその後もお世話になっており、卒業後も木育のプロジェクトの講師として参加するなど、研究室の先生より密に連携をとっています。」と、今でも母校との関わりが続いています。

また、森口さんは大学時代アーチェリー部に4年間所属し、2年次からは美術部も兼部。アルバイトをするなど人や社会とのつながりも増えていきました。「もともと交友関係は狭く深くというタイプだったのですが、部活やアルバイトを通して、いつの間にか多くの人と関わるようになって楽しいことも増えました。部活では先輩や後輩との関係、スー

パーマーケットのアルバイトでは常連のお客さんや子どもたちと話をたくさんするようになっていましたね」と、学生時代に育まれたコミュニケーション力や広い視野で捉える力が『日新』の採用窓口としての原点になっているようです。「アンテナを張って楽しいことには首をつっこんで。同じことをしても、やらされている感なく楽しむことができれば勉強も仕事も長く続けられると思います」と、一緒にやりがいをもって楽しく働ける人材採用に努めています。



今年からInstagram運用のプロジェクトリーダーも務めています。ぜひ一度ご覧ください。

@NISSHIN_GROUP



株式会社 日新

(本社) 鳥取県境港市西工業団地100
<https://www.nissin.gr.jp/>

長尺を含む針葉樹構造用合板、フロー台板、コンクリート型枠用合板、クロス下地合板、内装用合板、LVLなどの製造・販売。グループ全体で木材資源の再生産・有効活用と木の文化の継承に努めている。

活躍する卒業生



株式会社 日新 人事総務課 森口海渡さん
島根大学 法文学部言語文化学科2020年3月卒業



活躍できる場は、専門分野を超えて。



創業77年、合板に関わる事業を一貫して行っている『日新グループ』は国内合板市場におけるシェア率約30%を占め、その事業の中核である合板の製造・販売を担うのが『株式会社日新』です。工場は、鳥取、島根、三重、徳島と全国6工場あり顧客ニーズに合わせた製品づくりを行う一方、グループ全体で国産材の活用を推進するなどSDGsにも貢献しています。

森口さんが入社を決めたのは、自分の創作スキルを広報戦略や魅力ある事業の展開に活かせるのではないかと感じたからだそうです。「ものを作ったりアイデアを考えたりするのが好きで、プロジェクトを動かすのは楽しいです。事業内容は大学の学部と直接関係はないですが、文章力や言語化する力は大学での